

# まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



## 新原・奴山古墳群を楽しもう

ふくつ古墳まつり



▲古墳群の周辺にはたくさんの灯明がともされました

新原・奴山古墳群の世界文化遺産国内推薦決定を記念して、「ふくつ古墳まつり」が開催されました。メイン会場となった新原・奴山古墳群30号墳付近では、地域の小学生の合唱や、古墳群にまつわる演舞や演劇がステージで行われました。さらに、屋台や豚汁のふるまいなども行われ、古墳群の辺りにはぎやかな声があふれていました。

また、夕方からは古墳群の周りに灯明が並べられ、辺りが暗くなると灯明に光がともりました。古墳のライトアップも行われ、幻想的な雰囲気になり、普段とは違った古墳群になりました。

イベントの実行委員長を務めた勝浦地域の花田勲さんは「市民の皆さんの協力が基になって、世界文化遺産登録に向けて前進しています」と語り、地域の盛り上がりにも弾みをつけたイベントとなりました。

## 光の道を駆け抜ける

開運一番駆け

最近人気グループ「嵐」のCMで注目を浴び、県内外から多くの人が訪れる宮地嶽神社。この神社で「第13回開運一番駆け」がありました。子ども、女性、男性の各部で、総勢65人が一番を目指して健脚を競いました。

81段の石段を駆け上がり、



▲ゴール前の石畳を競り合い駆け抜ける子どもたち

◀左から白土さん、坂丸さん、稲永さん

神社楼門がゴールとなるコースは、桜並木も満開の花を咲かせてお出迎え。優勝者は子どもの部が福岡東中学校に通う坂丸翔馬さん、女性の部が2連覇となる志免町の白土慶子さん、男性の部が博多区の稲永成紀さんでした。

坂丸さんは「初参加なので一番になれるとは思ってもみなかった。ドッジボールを4年間していたおかげかも」と笑顔でした。



## 地域への感謝の気持ち

高規格救急自動車を寄贈



▲贈呈式に出席した 4月1日から運用が開始されています  
木村良一さん(左)と小山市長(右)

3月30日、宗像地区消防本部に高規格救急自動車が寄贈されました。寄贈したのは宗像市で建設業を営む株式会社木村組の木村順子さんです。木村さんは、街中で救急車を見かける機会が多く、一人でも多くの人の生命を守ってほしいとの思いから、寄贈を決心したそうです。贈呈式に寄贈者の代理で出席した木村良一さんは、「地域への感謝の気持ちを込め、多くの人の命を救う救急車を贈りました」と語ってくれました。

## とっさの判断が詐欺を防ぐ

特殊詐欺事件を未然防止



▲宗像警察署長から賞状を手渡された高山さん(中央)

宗像警察署で3月25日に、架空請求の被害を防いだとして、水産高校2年生の高山萌々花さんに感謝状が贈呈されました。高山さんはコンビニエンスストアでアルバイトとして働いていたところ、被害に遭いかけた人の行動を不審に思い、声をかけたそうです。「まさかとは思いましたが、詐欺被害を防げてよかったです」と語ってくれました。

## 春の福津を自転車で巡る

自転車さんぽ



▲津屋崎千軒なごみをスタートする参加者たち

3月20日に自転車さんぽが開催されました。このイベントは、自転車に乗って福津ならではの美しい風景を眺めながら、市内各所を巡ってクイズを解くなどしてポイントを競います。市の内外から津屋崎千軒なごみに集まった参加者たちは、スタート前にはチームで通るルートを相談し合ったりしていました。イベント運営者の仲間浩一さんは「福津市には自転車で巡って楽しい地域がありますね」と語ってくれました。

## 保育園、幼稚園に防災頭巾を配布

「地方創生先行型」の子育て環境充実化事業



▲防災頭巾をかぶる津屋崎保育園の子どもたち

万が一の災害に備えて、市内の保育所、幼稚園などに防災頭巾を配りました。これは、市が進めている児童施設での防災に関する取り組みの一環として行われたものです。防災頭巾が配備された保育所の一つ、津屋崎保育園の吉田恵子園長は「防災訓練などで使い、子どもたちの防災意識を高めることに役立てたいです」と語っていました。